

第一波フェミニズムから第二波フェミニズムまで
書籍、定期刊行物、団体内部資料、個人文書を通して甦る
フェミニズムの歴史

SHREW

women's
liberation
workshop

NO MORE
FUN
AND
GAMES

THE MALTHUSIAN
A MONTHLY JOURNAL
ORGAN OF THE MALTHUSIAN LEAGUE.

EUGENICS
REVIEW

EDITORIAL NOTES

On Wednesday, June 29th, some members of the House of Commons who are interested in the question of the feeble-minded arranged a meeting in one of the Committee Rooms of the House for the discussion of the problem. To this meeting they invited the Council of the Eugenic Education Society to send delegates, and Mr. W. C. D. Whitham, Dr. Langdon-Down and Dr. Slaughter were asked by the Council to attend. About thirty or forty members of Parliament were present.

Women's Studies Archive:

Part I : Issues and Identities

Part II : Voice and Vision

Women's Studies Archive

本アーカイブは、欧米の研究機関や図書館が所蔵する定期刊行物や内部文書をデジタル化し、19世紀前半から20世紀末までのフェミニズムの歴史に迫る電子リソースです。手書き資料以外の活字資料は全てフルテキスト検索ができます。

第一波フェミニズムから第二波フェミニズムまでの貴重な資料群

19世紀に女性参政権運動として始まった欧米諸国の女性権利拡張運動(第一波フェミニズム)は、第一次大戦後、参政権付与による女性の政治的解放が実現し、所期の目的を達成しました。しかし、その後も家族や私的領域での女性差別が残る現実を目の当たりにした女性は、女性が女性として解放されることを目指し、「個人的なことは政治的である」との認識の下に、女性の権利をラディカルに問い直しました。こうして生まれたのが女性解放運動(第二波フェミニズム)です。本アーカイブは、19世紀以降女性の地位向上を目指して展開された運動を記録する資料群を幅広く収録します。その運動は参政権獲得に止まらず、産児調節、平和運動から社会主義運動まで、広範囲に及びました。運動の当事者である個人や団体の内部文書、女性向けの定期刊行物、女性論の古典から、女性史への関心の高まりを背景に広範囲に収集された女性史関連資料、女性解放運動が問いかけた最も重要な問題である出産や産児調節に関する資料まで、広く研究者の利用に供するものです。

アメリカ古書協会所蔵の女性作家の書籍、女性論約3,000巻を収録(Part II)

1820年代から1920年代までの100年間に刊行された女性作家による著作や女性論を収録します。評論、歴史書、伝記から小説、児童文学、コンダクト・ブック(礼儀作法書)まで収録し、取り上げられる主題は、奴隷制廃止、禁酒運動、離婚、家事、教育、公衆衛生、犯罪、宗教、女性差別、女性参政権等、狭義のフェミニズムのカテゴリーを超えて、広範囲に及びます。

定期刊行物約1,000タイトルを通して見るフェミニズム150年の歴史(Parts I, II)

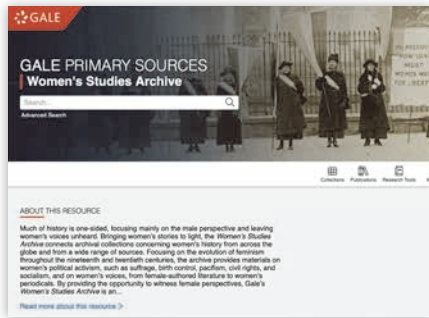
1820年代から1970年代までの150年間に亘り、主として欧米で発行された定期刊行物(雑誌、新聞、ニューズレター)約1,000タイトルを収録します。所蔵機関は、全米女性史プロジェクト、大英図書館、社会史国際研究所(アムステルダム)です。米国女性解放運動を代表する雑誌*Ms.*(グロリア・スタインム創刊)、米国女性解放運動史上初のニューズレター*Voice of the Women's Liberation Movement*、『楽しみも遊びももうたくさん(*No More Fun and Games*)』の誌名を掲げたラディカル・フェミニズム系の*A Journal of Female Liberation*、ニューヨークの*RAT*、新しいフェミニズムの理念を掲げた1971年創刊の*The Second Wave: A Magazine of the New Feminism*、作家アフラ・ベーンに由来する文芸誌*Aphra*、英国初の女性参政権雑誌*Women's Suffrage Journal*(リディア・ベッカー創刊)、女性ジャーナリスト協会の機関誌*The Woman Journalist*、英国女性解放運動史上初のニューズレター*Shrew*、オランダの*Evolutie: Weekblad voor de Vrouw*、ドイツの穏健派フェミニズムの*Die Frau*、社会主義系の*Die Gleichheit*、中絶の合法化を唱えた*Die Neue Generation*、フランスの穏健派フェミニズムの*La Française: Journal de Progrès Féminin*、社会主義系の*La Vague*、文化・芸術系の*Psyché*、ベルギーのカトリック系の*La Femme Belge*、社会主義系の*De Stem der Vrouw*等、アメリカ、イギリス、アイルランド、オランダ、ベルギー、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス、イタリア、チェコ、スウェーデンから、南アフリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、南米ウルグアイ、オランダ領インドネシア、日本まで、世界各地のフェミニズムの歴史を形成した定期刊行物を多数収録します。

スワスモア大学が所蔵する戦間期アメリカ平和運動の資料(Parts I, II)

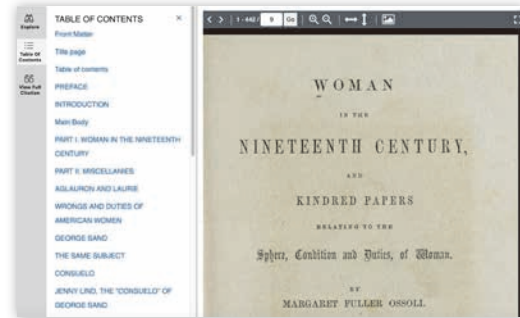
空前の死傷者を出した第一次世界大戦は、平和運動の歴史にとっても転換期となりました。アメリカではヨーロッパでの戦争への参戦を巡り世論が二分する中、参戦反対派は組織的運動を展開、戦後も、新たに設立された女性国際平和自由連盟を通して、各国の反戦組織との連携の下に反戦運動を展開しました。本アーカイブは、アメリカ有数の平和研究機関、スワスモア大学が所蔵する平和運動関係資料の中から、女性反戦党、女性国際平和自由連盟アメリカ支部、女性平和連合の三つの団体文書(Part I)、アンナ・ガーリン・スペンサー、ハナ・ジョンストン・ベイリー、リディア・G・ウェントワース、エドウィン・ミード夫妻、ハナ・クロジェ・スミスの文書(Part II)を通して、知られざる戦間期アメリカの平和運動を浮き彫りにします。女性国際平和自由連盟日本支部の事務所が置かれた日本女子大学校(現日本女子大学)の関係者が米国本部と交わした書簡も収録されています。

『ザ・マルサシアン』『ユージェニクス・レビュー』等、家族計画、産児調節の重要資料を収録(Part I)

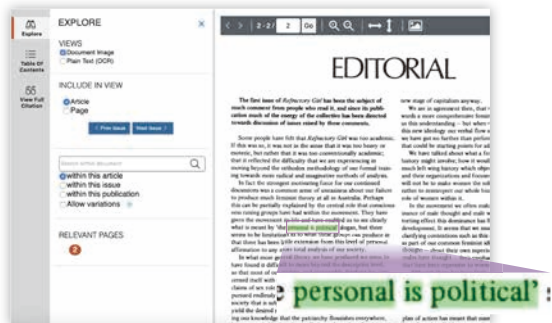
しばしばナチズムとの連想の下に現在ではタブー視される優生学は、20世紀前半においては自由主義者や社会主義者を含む多くの知識人がその可能性に期待しました。そして、産児調節や家族計画が優生学的発想の下で推進されたことに見られるように、フェミニズムにも優生思想に傾いた歴史があります。本アーカイブは、英国のマルサス主義連盟の月刊誌*The Malthusian*と優生学教育協会の機関誌*The Eugenics Review*、全米家族計画連盟の内部文書を収録し、フェミニズムと産児調節、優生学との関係に光を当てます。全米家族計画連盟の内部文書の日本関係ファイルには、産児調節運動のパイオニア、マーガレット・サンガーのマッカーサー宛書簡、GHQのエセル・ウィード中尉のサンガー宛書簡、日本で産児調節運動を推進した馬島側、古屋芳雄等と連盟幹部の間で交わされた書簡が収録されているほか、サンガーの高弟加藤シズエに関する言及も随所に見られます。



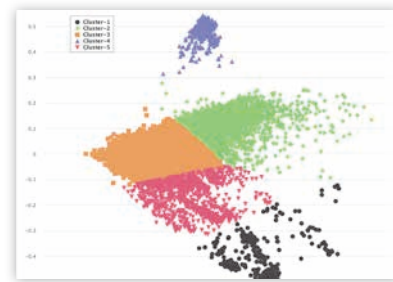
トップページ



文書閲覧ページ



一字一句までフルテキスト検索。検索語はハイライト表示



別契約の Gale Digital Scholar Lab では様々なテキストマイニングのツールをご利用になれます。この例は『ザ・マルサシアン』の全記事を対象にクラスタリングの解析結果を表示したものと

クラウド上でテキストマイニングするプラットフォーム、Gale Digital Scholar Lab(別契約)の導入機関は、Lab上にて導入済みアーカイブのコンテンツをご利用いただくことができます。(一部アーカイブを除く)本アーカイブもLabでご利用可能です。詳しくはお問い合わせください。

データベースの概要

◎ Part I : Issues and Identities

- ◆ 収録資料：手書文書、タイプ原稿、雑誌、新聞、写真
- ◆ 収録期間：1770年代～1990年代
- ◆ 収録資料の発行地：アメリカ、イギリス、フランス、ベルギー、オランダ、ドイツ、オーストリア、スイス、イタリア、スウェーデン、カナダ、オーストラリア、ニューージーランド、南アフリカ、ウルグアイ、日本

◆ 原資料所蔵機関：

- ・ スワスモア大学平和文庫
- ・ スミスカレッジ図書館ソフィア・スミス文庫
- ・ 全米女性史プロジェクト(現全米女性史連合)
- ・ ハーバード大学ラドクリフ研究所シュレジンガー図書館
- ・ ニューヨーク公共図書館
- ・ 社会史国際研究所(アムステルダム)
- ・ オレゴン大学ナイト図書館
- ・ ノースイースタン大学
- ・ GLBT歴史協会(サンフランシスコ)
- ・ ロンドン政治経済学院附属図書館
- ・ 民衆史博物館(マンチェスター)

- ・ 機能：ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDFファイルのダウンロード、OCRテキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、ブックマーク、Google Drive/ Microsoft OneDriveへの保存等

◎ Part II : Voice and Vision

◆ 収録資料：

- 書籍、パンフレット、手書文書、タイプ原稿、雑誌、新聞
- ◆ 収録期間：1820年代～1990年代
- ◆ 収録資料の発行地：アメリカ、イギリス、アイルランド
- ◆ 原資料所蔵機関：
 - ・ アメリカ古書協会
 - ・ スワスモア大学平和文庫
 - ・ ニューヨーク大学附属ターミネント図書館・ロバート・F・ワグナー労働関係文書館
 - ・ カリフォルニア大学サンタバーバラ校
 - ・ 大英図書館
 - ・ 英国国立公文書館

《関連商品》

◆ Nineteenth Century Collections Online (NCCO), Women: Transnational Networks

女性参政権、産児調節、女性教育など女性とジェンダーの諸問題を扱う19世紀の書籍、雑誌、新聞から文書、写真まで、合計286万ページの資料を収録。

◆ Archives of Sexuality and Gender Parts I - IV

アメリカ、ヨーロッパからオセアニア、アジア、アフリカまで、世界各国の性的マイノリティ関係団体の刊行物、内部文書、定期刊行物を収録。

Part I : Issues and Identities

Part I : Issues and Identities

《収録コレクション》

第一波フェミニズム・女性参政権運動関係資料

- ◆ 女性労働組合連盟とその指導者 (Women's Trade Union League and Its Leaders 1903-1950)
ハーバード大学ラドクリフ研究所附属シュレジンガー女性史図書館が所蔵する女性労働組合連盟と組合指導者の活動に関する資料。
- ◆ 女性労働連盟年次総会会議録と雑誌 (Women's Labour League: Conference Reports and Journals, 1906-1977)
女性の選挙権獲得と社会における女性の地位向上を目指して20世紀初頭に設立され、1918年に労働党女性部として再編されたイギリス女性連盟の年次総会議事録と雑誌 ("League Leaflet", "The Labour Woman" 等) を収録。

第二波フェミニズム・女性解放運動関係資料

- ◆ 草の根フェミニズム団体内部文書 パート1
(Grassroots Feminist Organizations, Part 1: Boston Area Second Wave Organizations, 1968-1998)
第二波フェミニズム運動の拠点となったボストンのフェミニズム団体、女性団体の内部文書。
- ◆ 草の根フェミニズム団体内部文書パート2
(Grassroots Feminist Organizations, Part 2: San Francisco Women's Building / Women's Centers, 1972-1998)
ボストンと並ぶ第二波フェミニズム運動の拠点、サンフランシスコの女性団体の内部文書。
- ◆ 女性と法コレクション (Women and Law Collection 1969-1975)
女性史研究センターの所蔵資料から、メディアにおける性差別、児童保育環境の改善を求める女性の闘い、女性参政権運動、女性反戦運動、従業員給付や育児休暇に関する裁判など、女性に関連する法的問題に関する資料。

米国スワスマア大学平和コレクション所蔵米国女性平和運動関係資料

- ◆ 女性平和党記録集 (Collected Records of the Woman's Peace Party: 1914-1920)
キャリー・チャップマンとジェーン・アダムズにより設立された米国の女性反戦党の内部文書(半分以上は書簡)を収録。他の平和団体との関わり、学校の軍事教練への反対活動、良心的兵役忌避者への関与、アメリカ参戦後の食糧支援活動など、女性平和党の活動の実態を明るみにします。
- ◆ 女性国際平和自由連盟米国支部資料集
(Women's International League for Peace and Freedom: United States Section, 1919-1959)
1915年に創設された女性国際平和自由連盟の米国支部と米国内の地方支部、他の平和団体や政府機関、日本を含む各国の支部との往復書簡を収録するほか、米国支部の刊行物や内部資料を収録。
- ◆ 女性平和連合記録集 (Records of the Women's Peace Union: 1921-1940)
1921年創設の米国の平和団体、女性平和連合の内部文書を収録。戦争廃絶を目指し、憲法修正案の議会上程やロビー活動を展開した知られざる戦間期アメリカの平和団体の活動を浮き彫りにします。

産児調節・家族計画・優生学関係資料

- ◆ 『ザ・マルサシアン』『ユージェニクス・レビュー』
(Malthusian, 1879-1921 (formerly Women and the Social Control of Their Bodies))
家族計画を世界で初めて奨励した団体、マルサス主義連盟の月刊誌 *The Malthusian* の創刊号(1879)から最終号(1921)まで、優生学教育協会の季刊誌 *The Eugenic Review* の創刊号(1909)から最終号(1921)まで。
- ◆ 全米家族計画連盟記録集 (Planned Parenthood Federation of America Records, 1918-1974)
マーガレット・サンガーが創設したアメリカ産児調節連盟と全米初の産児調節臨床施設である産児調節臨床研究局が統合して設立された米国最大の生殖医療関連組織である全米家族計画連盟。その前身の時代を含め、1918年から1974年までの内部文書を収録。
- ◆ 女性と健康/精神衛生 (Women and Health/Mental Health)
1968年、カリフォルニア州パークレーに設立された女性史研究センターの所蔵資料の中から、女性と健康・精神衛生に関するコレクションを収録。特に、中絶と産児調節関係の資料が充実。

定期刊行物(雑誌・新聞・ニュースレター)

- ◆ 全米女性史プロジェクト所蔵定期刊行物集成 (Herstory)
女性解放運動史の定期刊行物のパイオニア *Voice of the Women's Liberation Movement*、フェミニズム系雑誌の代表格 *Ms.*、ラディカル・フェミニズム系の *No More Fun and Games: A Journal of Female Liberation*、ユダヤ教フェミニズム系の *Lilith*、イギリス女性解放運動の *Shrew*、レスビアン・フェミニズム団体「ヒリテイスの娘たち」の *The Ladder* の他、アメリカ、イギリス、カナダ、ドイツ、オーストラリア、チェコ等で、1950年代から1980年代にかけて刊行された雑誌、新聞、ニュースレター、約200タイトルを収録。
- ◆ 社会史国際研究所所蔵ヨーロッパ女性誌集成 (European Women's Periodicals)
オランダ、ベルギー、フランス、ドイツ、スイス、オーストリア、チェコ、蘭領インドネシアで1880年代から1940年代にかけて発行された女性誌192誌。

《収録雑誌》

オランダ

- ◆ A.N.V.O.
- ◆ Afdeeling Zeist van Den Algemeenen Nederlandschen Vrouwen Vredesbond
- ◆ Belang en Recht
- ◆ Bulletin van het "Persbureau der Vereeniging voor Vrouwenkiesrecht"
- ◆ Christelijk Vrouwenleven
- ◆ Correspondentie-Blad van de Haagsche Dienstbodenvereeniging van Brakelstraat 17 s' Gravenhage
- ◆ Correspondentie-Blad van Het Nederlandsch Komitee voor Algemeen Kiesrecht
- ◆ Dameskroniek
- ◆ De Hollandsche Lelie
- ◆ De Huishouding
- ◆ De Huisvrouw: Weekblad voor Dames
- ◆ De Jonge Vrouw
- ◆ De Katholieke Vrouw
- ◆ De Liberale Vrouw
- ◆ De Naaisters en Kleermakersbode
- ◆ De Naaistersbode
- ◆ De Nederlandsche Soroptimist
- ◆ De Nederlandsche Vrouwengids
- ◆ De Ploeger
- ◆ De Proletarische Vrouw
- ◆ De Schalmei
- ◆ De Socialistische Vrouw
- ◆ De Verantwoordelijkheid Van De Vrouw
- ◆ De Voorbode: Orgaan van de Rev. Soc. Vrouwenbond
- ◆ De Vrouw en de Vrede: Orgaan van de Algemeene Nederlandsche Vrouwenvredebond
- ◆ De Vrouw In De XXste Eeuw
- ◆ De Vrouw: Officieel Orgaan van de Tentoonstelling
- ◆ De Vrouw: Weekblad voor de Vrouw in en Buiten het Gezin
- ◆ De Vrouwen Krant
- ◆ De Vrouwenstrijd
- ◆ De Werkende Vrouw
- ◆ De Wig
- ◆ De Zilveren Trompet
- ◆ Democratie
- ◆ Eigen Haar
- ◆ Evolutie: Weekblad voor de Vrouw
- ◆ Geloofsgetuigen Galerij van Christelijke Vrouwen
- ◆ Ha'lscha = De Vrouw: Orgaan van de Joodsche Vrouwenraden in Nederland
- ◆ Hand Aan Hand
- ◆ Het Gelukkig Huisgezin
- ◆ Het Gildeblad
- ◆ Het Nijverheidsonderwijs voor Meisjes
- ◆ Het Recht der Vrouw: Maandblad der Feministische Partij
- ◆ In en Om de Keuken: Orgaan van de Huishonden Kookscholen
- ◆ In En Om De Woning
- ◆ Kampvuur
- ◆ Lelie-En Rozeknoppen
- ◆ Leven en Werken: Algemeen Maandblad voor Volkscultuur
- ◆ Maandblaadje Uitgegeven Door De Vereeniging Voor Vrouwenkiesrecht
- ◆ Maandblad Der Vereeniging voor Verbetering van Vrouwen Kleeding
- ◆ Maandblad voor Vrouwenstudie
- ◆ Maandbulletin van het "Persbureau der Vereeniging voor Vrouwenkiesrecht"
- ◆ Maandbulletin van het Nationaal Bureau voor Vrouwenarbeid

- ◆ Meisjesleven
- ◆ Meisjesleven: Christelijk Tijdschrift voor onze Vrouwelijke Jeugd
- ◆ Nosokómos: Tijdschrift der Nederlandsche Vereeniging tot Bevordering der Belangen van Verpleegsters en Verplegers
- ◆ Ons Blaadje
- ◆ Ons Kinderblaadje
- ◆ Ons Streven
- ◆ Onze Gids Maandblad voor Vrouwen en Meisjes
- ◆ Onze Jonge Meisjes
- ◆ Op de Grenzen van Twee Werelden: Onderzoek en Ervaring op het Gebied van het Hoogere Leven
- ◆ Orgaan van Den Nationalen Vrouwenraad van Nederland
- ◆ Orgaan van den Nederlandschen Vrouwenbond tot Verhooging van het Zedelijk Bewustzijn
- ◆ Penélopé, of Maandwerk aan het Vrouwelijk Geslacht Toegewijd
- ◆ Soroptimist
- ◆ Tesselschade
- ◆ Tesselschade Correspondentie-Bladje
- ◆ Toilet: Tijdschrift voor Vrouwelijke Handwerken
- ◆ Vereeniging van Nieuw-Feministen
- ◆ Voor Onze Meisjes
- ◆ Vrede en Vrijheid
- ◆ Vrede en Vrouwenrecht
- ◆ Vrouw En Gemeenschap Maandblad Van De Ned. Vereeniging Voor Vrouwenbelangen en Gelijk Staatsburgerschap
- ◆ Vrouwenarbeid
- ◆ Vrouwenstrijdkrant
- ◆ Wij Jonge Vrouwen: Geïllustreerd Christelijk Tijdschrift
- ◆ Zij

蘭領東インド・インドネシア

- ◆ De Huisvrouw in Indië
- ◆ Driemaandelijksche Mededeelingen van de Vereeniging in Indië van Vrouwelijke Oud Studenten (V.I.V.O.S.)
- ◆ Orgaan van de Vereeniging voor Vrouwenkiesrecht in Nederlandsch Indië
- ◆ Viermaandelijksche mededeelingen van de Vereeniging in Indië van Vrouwelijke Oud Studenten

ベルギー

- ◆ Cahiers Feministes
- ◆ De arbeidster: organ der Christene Vrouwenvakvereenigingen van België
- ◆ De Lelie: Maandelijksch Katholiek Dames-Tijdschrift voor Noord- en Zuid-Nederland
- ◆ De Stem der Vrouw
- ◆ De Vrouw
- ◆ En Avant pour le Suffrage Universel
- ◆ Journal des Dames et des Demoiselles
- ◆ Journal des Demoiselles
- ◆ L'Égalité: Revue Publiée par le Groupement Belge pour l'Affranchissement de la Femme
- ◆ La Femme Belge: Organe de Langue Française du Mouvement Social Féminin Chrétien de Belgique et de l'Ecole Normale Sociale Catholique
- ◆ La Ligue: Organe Belge du Droit des Femmes
- ◆ La Travailleuse Traquée

- ◆ La Voix de la Femme
- ◆ Les Femmes dans l'Action Mondiale: Revue Mensuelle du Comité Mondial des Femmes Contre la Guerre et le Fascisme, Section Belge
- ◆ Trésor des Demoiselles
- ◆ Vrouwen

フランス

- ◆ 1833 ou L'Année de la Mère
- ◆ Bulletin des Groupes Féministes
- ◆ Bulletin International d'Informations
- ◆ Documents du C.M.F.
- ◆ En Vigie
- ◆ Femina
- ◆ Fillette
- ◆ Frauen u. Mädchen im 3. Reich
- ◆ Journal des Dames
- ◆ Journal des dames et Messenger des Dames et des Demoiselles
- ◆ L'Abeille
- ◆ L'Action Féminine: Bulletin Officiel du Conseil National des Femmes Françaises
- ◆ L'Action Sociale de la Femme
- ◆ L'Equité
- ◆ La Citoyenne
- ◆ La Femme dans la Famille et dans la Société: Journal Politique, Littéraire, Scientifique, Artistique et Financier
- ◆ La Femme Libre
- ◆ La Française: Journal de Progrès Féminin
- ◆ La Fronde
- ◆ La Mère Educatrice
- ◆ La Mère Michel
- ◆ La Mère Peinard
- ◆ La Revue Féministe
- ◆ La Suffragiste
- ◆ La Tribune des Femmes Socialistes
- ◆ La Tribune Libre des Femmes
- ◆ La Vague
- ◆ La Voix des Femmes
- ◆ Le Journal de Tous
- ◆ Le Malthusien
- ◆ Le Mouvement Familial
- ◆ Le Néo-Malthusien
- ◆ Le Sud-Est
- ◆ Le Suffrage Universel
- ◆ Les Documents du progrès
- ◆ Les Femmes dans l'Action Mondiale
- ◆ Les Modes Parisiennes
- ◆ Magasin des Jeunes Dames
- ◆ Psyché
- ◆ Revue Cosmique
- ◆ SOS: Tribune de la Section Française de la Ligue Internationale des Femmes pour la Paix et la Liberté
- ◆ Tout ou Rien
- ◆ Tribune des Femmes

ドイツ

- ◆ Archiv für Frauenkunde und Eugenik
- ◆ Aussprache
- ◆ Bayerische Frauenzeitung: Einziges Offizielles Verbandsorgan
- ◆ Beyers Mode für Alle
- ◆ Blätter für Soziale Arbeit
- ◆ Das Deutsche Frauenblatt
- ◆ Deutsche Arbeiterinnen-zeitung
- ◆ Die Arbeiterin
- ◆ Die Frau
- ◆ Die Frau im Staat
- ◆ Die Frauenbewegung



- ◆ Die Frauenfrage, Zentralblatt des Bundes Deutscher Frauenvereine
- ◆ Die Genossin
- ◆ Die Gesunde Frau
- ◆ Die Gleichheit
- ◆ Die Neue Generation
- ◆ Die Proletarische Frau
- ◆ Frauen = Beilage
- ◆ Frauen Rundschau
- ◆ Frauen-welt
- ◆ Frauen-Zukunft
- ◆ Frauenart und Frauenleben
- ◆ Frauenstimme
- ◆ Frauenstimmrecht!
- ◆ Frauenwacht
- ◆ Frauenwahlrecht
- ◆ Frauenwirtschaft
- ◆ Gewerkschaftliche Frauenzeitung
- ◆ Jung Bäuerin
- ◆ Kinderland: ein Jahrbuch für die Buben und Mädels des Arbeitenden Volkes
- ◆ Komm Mit!
- ◆ Lose Blätter im Interesse der Frauenfrage

- ◆ Mutterschutz
- ◆ Mädchenschule
- ◆ Neu-Deutschlands Frauen
- ◆ Neue Bahnen
- ◆ Opferdienst der Deutschen Frau
- ◆ Sexual-Probleme
- ◆ Zentralblatt des Bundes Deutscher Frauenvereine

オーストリア

- ◆ Arbeiterinnen-Zietung
- ◆ Der Bund: Zentralblatt des Bundes Österr. Frauenvereine
- ◆ Die Arbeiterin: Organ für die Interessen der Werkstätigen Frauen in Österreich
- ◆ Die Frau Sozialdemokratische Monatsschrift
- ◆ Die Hausangestellte
- ◆ Die Österreicherin: Zeitschrift für alle Interessen der Frau
- ◆ Die Österreichische Frau
- ◆ Die Unzufriedene eine unabhängige Wochenschrift für alle Frauen

- ◆ Die Wählerin Sozialdemokratisches Frauen-Wochenblatt
- ◆ Dokumente der Frauen
- ◆ Frauen Tag
- ◆ Frauenleben: Blätter zur Vertretung der Frauen Interessen
- ◆ Neues Frauenleben
- ◆ Wiener Hauswirtschaftliche Rundschau
- ◆ Zeitschrift für Frauen-Stimmrecht

チェコ

- ◆ Die Sozialdemokratin
- ◆ Frauenwelt
- ◆ Gleichheit

スイス

- ◆ Aufgeschaut! Gott Vertraut!
- ◆ Frauenbestrebungen
- ◆ Frauenrecht
- ◆ La Famille

その他

◆ 15人委員会記録集(Committee of Fifteen Records, 1900-1901)

世紀転換期のニューヨークで売春とギャンブルを根絶するために創設された15人委員会の活動の実態を供述書や捜査官の報告書を通して明らかにします。ニューヨーク市政の腐敗、市政改革の試みをもヴィヴィッドに伝える貴重な資料。

◆ 女性の人生(Women's Lives)

アメリカ共産党員で労働の権利の唱導者であるエリザベス・ガーリー・フリン、イギリスの女性参政権活動家であるメアリ・ガーソープ、世界各国でキリスト教布教活動を展開した女性宣教師、西部開拓期の太平洋沿岸フロンティアにおける女性など。写真多数。

Part II : Voice and Vision

《収録コレクション》

書籍

◆ アメリカ古書協会所蔵女性著作・女性論集成

《収録著作の一部》

アメリカ

《評論》

- ◆ エルザ・ヘイウッド『無作法な自由：同意なしに女性を支配することが不正義で無作法であることを示す試論』(1870)
- ◆ エリザ・ファーナム『女性とその時代』(1864)
- ◆ エリザ・ファーナム『大草原での生活』(1847)
- ◆ ベルヴァ・アン・ロックウッド『憲法によって保障された女性の参政権』(1871)
- ◆ トマス・ウェントワース・ヒギンソン『女性とその願望：試論』(1853)
- ◆ トマス・ウェントワース・ヒギンソン『女性とアルファベット』(1900)
- ◆ マーガレット・フラー・オッソーリ『19世紀における女性』(1845)
- ◆ 『女性の権利獲得のためのセネカ・フォールズ会議議事録』(1870)

《女性参政権》

- ◆ コネチカット女性参政権協会『女性参政権に関するコネチカット州議会合同特別委員会報告』(1870)
- ◆ 『コネチカット女性参政権協会小冊子』(1870-1871)
- ◆ 『全米女性権利会議 会議録』(第1,2,3,7,9回) (1851-1859)

《女性参政権反対論》

- ◆ フランシス・パークマン『女性参政権に反対する若干の理由』(1884)
- ◆ 女性への参政権拡大に反対するマサチューセッツ協会『第1回年報』(1896)
- ◆ 女性への参政権拡大に反対するマサチューセッツ協会『女性参政権と賃金』(1895)
- ◆ 女性への参政権拡大に反対するマサチューセッツ協会『女性参政権に関する見解：3人の著名人が説く女性は投票すべきでないとする理由』(1895)

《禁酒運動》

- ◆ フランシス・ウィラード『女性の禁酒運動における心得と助言』(1876)

《歴史書・伝記》

- ◆ エリザベス・フライズ・エレット『アメリカ独立革命の女性たち』(1849)

- ◆ エリザベス・フライズ・エレット『アメリカ社会の女王たち』(1867)
- ◆ サラ・ジョセファ・ヘイル『女性の記録、あるいは、『創世記』の時代から1868年までの傑出した女性の素描』(1873)
- ◆ ハリエット・ピーチャー・ストウ『聖書のヒロイン：著名なユダヤ人女性の物語風伝記』(1878)
- ◆ ハリエット・ピーチャー・ストウ『聖なる歴史における女性：25枚の油彩画付』(1878)
- ◆ ハリエット・ピーチャー・ストウ『我が国の有名な女性達：文学、科学、美術、音楽、演劇の分野で名を残したアメリカの女性達の生涯と行動』(1884)
- ◆ ヘンリー・アダムズ『歴史論集』(1891)
- ◆ アニー・ウィッテンマイヤー『女性による禁酒十字軍の歴史』(フランシス・ウィラード序文) (1878)
- ◆ フランシス・ウィラード、メアリー・リバーモア編『1,500人のアメリカ人女性の伝記：肖像画付』(全2巻) (1897)
- ◆ サミュエル・グリスウォルド・グッドリッチ『有名な女性の生涯』(1848)

《文学》

- ◆ エリザベス・ウィザレル(スーザン・ワーナー)『広い、広い世界』(全2巻) (1851)
- ◆ スーザン・ワーナー『パンとオレンジ』(1875)
- ◆ スーザン・ワーナー『降伏の旗』(1876)
- ◆ イーディス・ウォートン『お国の習慣』(1913)

《児童文学》

- ◆ ナサニエル・ホーソン『おじいさんの椅子』(1841)
- ◆ サミュエル・グリスウォルド・グッドリッチ『ピーター・パーリー自身を語る』(1866)
- ◆ サミュエル・グリスウォルド・グッドリッチ『ピーター・パーリーのアリス・グレイ物語』(1833)
- ◆ トマス・ウェントワース・ヒギンソン『妖精の国の誕生日：子供のための物語』(1850)

- ◆ キャサリン・マリア・シジウィック『奇形児』(1826)
- ◆ ティモシー・シェイ・アーサー『貧しいきこり』(1863)
- ◆ ティモシー・シェイ・アーサー、E.C.ウッドワース『少女少女のための真珠の首飾り』(1853)

《コンダクト・ブック、助言本》

- ◆ ウィリアム・アンドラス・オルコット『若い女性のための卓越への指針』(1845)
- ◆ ウィリアム・アンドラス・オルコット『結婚の生理学』(1866)
- ◆ ウィリアム・アンドラス・オルコット『若い女性：婚姻関係における女性の義務』(1838)
- ◆ ウィリアム・アンドラス・オルコット『若い女性のための健康読本』(1850)
- ◆ リディア・ハワード・シガーニー『若い淑女への手紙』(1838)
- ◆ ウィリアム・パークス夫人『家庭の義務』(1828)
- ◆ ティモシー・シェイ・アーサー『若い淑女への助言』(1849)

イギリス

《評論》

- ◆ 『ハナ・モア著作集』(全2巻)(1832)
- ◆ ハナ・モア『様々な主題に関する試論』(1822年から1827年頃)
- ◆ ウィリアム・ロバート『ハナ・モア夫人の生涯の回想録と書簡』(全2巻)(1834)
- ◆ ジョン・スチュアート・ミル『女性の服従』(1869)
- ◆ ジョン・スチュアート・ミル『女性参政権に関する議会演説』(1869)
- ◆ ジョン・ラスキン『胡麻と百合』(1865)

《歴史書・伝記》

- ◆ アグネス・ストリックランド『スコットランド女王とイングランド女王の生涯』(全7巻)(1851-1864)

《文学》

- ◆ シャーロット・ブロンテ『ジェーン・エア』(1848)
- ◆ ジェイン・オースティン『高慢と偏見』

◆ 女性出版物協会刊行物集成

《収録著作の一部》

- ◆ エリザベス・ブラックウェル『医学教育における誤った方法』(1891)
- ◆ フランシス・エリザベス・ホガン『ウェールズにおける女子教育』(1882)
- ◆ フランシス・エリザベス・ホガン『水泳と女性の健康との関係』(1879)
- ◆ フローレンス・フェンウィック・ミラー『女性参政権連盟のプログラム』(1890)

《コンダクト・ブック》

- ◆ サラ・スティックニー・エリス『イングランドの女性たち：その社会的義務と家庭の習慣』(1843)
- ◆ サラ・スティックニー・エリス『イングランドの妻たち、その相対的義務、家庭内の影響力、社会的責務』(1843)
- ◆ サラ・スティックニー・エリス『イングランドの娘たち：社会におけるその位置、性格、責任』(1844)
- ◆ サラ・スティックニー・エリス『イングランドの母たち：その影響力と責任』(1844)
- ◆ サラ・スティックニー・エリス『家族の監督と家庭指南』(1844)
- ◆ サラ・スティックニー・エリス『家庭、あるいは鉄の規則』(全2巻)(1836)

《児童文学》

- ◆ マライア・エッジワース『ロザモンド：初期のレッスン続編』(全2巻)(1821)
- ◆ マライア・エッジワース『誕生日のプレゼント』(1824?)
- ◆ マライア・エッジワース『プレズレット：気立ての良さと勤勉のご褒美』(1847)
- ◆ マライア・エッジワース『若者のための訓話』(1862)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『二人の姉妹』(1826?)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『ジュリアナ・オーグリー』(1825)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『祝福された家族』(1823)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『忙しい蜜蜂』(1820)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『メアリー・グラント、あるいは誰も知らない欠点』(1827)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『いばらの生垣』(1821)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『四阿の淑女』(1833)
- ◆ メアリー・マーサ・シャーウッド『シャーウッド夫人の初等読本』(1830)

フランス

- ◆ シャルル・ペロー『シンデレラ、あるいは小さなガラスの靴』(英訳)(1824)
- ◆ ジュール・ミシュレ『女』(英訳)(1860)
- ◆ ジュール・ミシュレ『愛』(英訳)(1872)
- ◆ ソフィエ・コタン『エリザベス、あるいはシベリアの流刑者たち』(英訳)(1820)

- ◆ ミリセント・ギャレット・フォーセット『パレスチナの6週間』(1921)
- ◆ ミリセント・ギャレット・フォーセット『2度目のパレスチナ訪問』(1922)
- ◆ ミリセント・ギャレット・フォーセット『1898年の予防接種法』(1902)

定期刊行物

◆ 大英図書館所蔵女性雑誌集成

《収録雑誌》

- | | | |
|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆ The Anti-Suffrage Review | ◆ Modern Woman | ◆ Women and Work, A Weekly Industrial, Educational, and Household Register for Women |
| ◆ The Barmaid | ◆ Monthly News in Connection with the Conservative and Unionist Women's Franchise Association | ◆ The Woman Clerk |
| ◆ The British Workwoman Out and at Home | ◆ My Lady's Novelties | ◆ The Woman Engineer |
| ◆ The Business Girl | ◆ Myra's Journal | ◆ The Woman Journalist |
| ◆ The Catholic Suffragist / Organ of the Catholic Women's Suffrage Society | ◆ Myra's Journal of Dress and Needlework | ◆ The Woman Teacher |
| ◆ The Church League for Women's Suffrage | ◆ Myra's Threepenny Journal and Childrens Bazaar | ◆ The Woman Worker: A Journal for Women Trade Unionists |
| ◆ The Conservative Woman | ◆ Myra's Threepenny Journal of Dress and Fashion | ◆ Woman's Herald |
| ◆ Day-Light | ◆ Myra's Threepenny Midmonthly Journal and Children's Bazaar | ◆ Woman's Opinion, Representing the Social, Domestic and Educational Interests of Women |
| ◆ Domestic News | ◆ The National Council of Women of Great Britain and Ireland Occasional Paper | ◆ Woman's Opinion: The New Army of International Peace |
| ◆ The Domestic Servants' Advertiser | ◆ Quarterly Report and Review | ◆ The Woman's Signal |
| ◆ The Englishwoman's Review and Drawing Room Journal | ◆ The Sempstress | ◆ The Woman's Signal Budget |
| ◆ The Enterprise Club Magazine | ◆ Shafts | ◆ Women Folk |
| ◆ Free Church Suffrage Times | ◆ The Suffragette News Sheet | ◆ The Women's Advocate |
| ◆ The Independent Suffragette | ◆ SWWJ News Letter | ◆ Women's Franchise |
| ◆ The Irish Schoolmistress, and Female Teachers' Assistant | ◆ Taxette | ◆ The Women's Gazette and Weekly News |
| ◆ The Journal of the University Association of Women Teachers | ◆ Woman; A Weekly Journal Embodying Female Interests from An Educational, Social, and Domestic Point of View | ◆ Women's Penny Paper |
| ◆ Journal of the Women's Education Union | | ◆ Women's Suffrage Journal |
| ◆ Lady's Own Novelties | | ◆ The Women's Tribune |
| ◆ The Liberal Woman's News | | |

◆ 女性出版物協会刊行物集成

《収録刊行物の一部》

- ◆ 『ザ・ヤング・ウーマン：挿絵月刊誌』(1892年10月号～1895年9月号、1896年10月号～1897年9月、1898年10月号～1903年9月号)
- ◆ 『ザ・レディーズ・ポケット・マガジン』(1826-1832,1834,1836-1839)
- ◆ 『ザ・レディーズ・トレジャリーズ』(1858-1860,1862-1867、1869、1871、1880-1882、1884、1889)
- ◆ 『ザ・マザーズ・コンパニオン』(1887、1889-1896)

Part II: Voice and Vision

米国スワスマア大学平和コレクション所蔵米国女性平和運動家文書

◆ アンナ・ガーリン・スペンサー文書(1878-1931)

作家、教育者、ユニテリアン教会の牧師、平和運動家、フェミニストとして、社会改革と女性の権利拡張と平和運動に生涯を捧げたアンナ・ガーリン・スペンサー(1851-1931)の書簡や著述のほか、評伝や家族の資料を収録。

◆ ハナ・ジョンストン・ベイラー文書(1858-1923)

クエーカー教徒の平和運動家で禁酒運動家として、禁酒運動団体の要職を歴任、女性参政権拡張、女性刑務所改革、死刑廃止にも積極的に関与したハナ・ジョンストン・ベイラー(1839-1923)の書簡、日記、公刊論文、未公刊論文のほか、ベイラーの伝記関係資料、覚書、禁酒活動に関する資料を収録する。

◆ リディア・G.ウェントワース文書(1902-1947)

平和運動家リディア・ウェントワース(1858-1947)の文書。病床での生活が長かったにも関わらず、多数の記事を新聞や雑誌に寄稿、多くの書簡も残した。その記事は新聞の社説に掲載された他、チラシの形で印刷して各種平和団体に配布された。本コレクションには友人、平和運動の同志、新聞編集者と交わした書簡のほか、印刷された記事、詩も収録されている。

◆ エドウィン・ドーク・ミード、ルチア・エイムズ・ミード文書(1876-1936)

米国内のみならず国際平和運動で指導的な役割を果たしたエドウィン・ミード(1849-1937)とルチア・ミード(1856-1936)夫妻の文書。エドウィンは世界平和基金を率い、国際平和ビューローのアメリカ代表を務めた。ルチアはアメリカ平和党等の平和団体に要職を歴任し、女性国際平和自由連盟の設立会議ではアメリカ代表を務めた。エドウィンの文書は平和運動家との書簡、新聞や雑誌に寄稿された論文、死後知人が追憶した文章を収録。ルチアの文書は日記、覚書、米国内外の平和団体との書簡、論文、書評、パンフレット等を収録。

◆ ハナ・クロージア・ハル文書(1889-1958)

女性平和党と女性国際平和自由連盟の創設メンバーの一人で、平和運動にとどまらず、女性参政権、禁酒運動など、幅広く社会改革運動に携わったハナ・クロージア・ハルの文書。公私の書簡、論文、家族の文書や写真など伝記に関する資料も収録。資料の多くは平和運動家ハルの側面を伝えるものであるが、女性参政権など女性の権利拡張に関わるものも含まれる。

ニューヨーク大学附属テーミネント図書館・ロバート・F・ワグナー労働関係文書館所蔵女性労働運動家文書

◆ メアリー・E.ガーソープ文書

女性参政権論者メアリー・ガーソープの文書。イギリス生まれのガーソープは当初、社会主義運動や労働運動に関わっていたが、女性参政権に対する関心が高まり、新聞の投書欄や労働運動の集会で自説を展開した。1911年に急進的な雑誌『ザ・フリーウーマン』をドラ・マースデンとともに創刊、戦闘的なサフラジェットとして知られるようになった。渡米後、女性参政権党に入党するなど、女性参政権のための闘いを続けた。日記、書簡、覚書、ピラ、報告などを収録する本コレクションは、イギリス時代からアメリカ時代にかけてのガーソープの活動を伝える。

◆ エリザベス・ガーリー・フリン文書

エリザベス・ガーリー・フリンの文書。両親の影響により、社会主義に目覚めたエリザベスは、急進的な世界産業労働組合の活動家として労働者のオルグや移民労働者のストライキ指導において頭角を現した。アメリカ自由人権協会創立時の創立メンバーの一人でもある。その説や著述は戦争、貧困、性差別、人権など多方面に及んだ。本コレクションは、書簡、論文、日記、演説、自伝、選挙運動関係資料、訴訟関係資料から、少女時代の作文やスクラップブックまで、貧困と反戦と人権のために闘った20世紀米国の左翼運動家の足跡を明らかにする。

カリフォルニア大学サンタバーバラ校所蔵ヒスパニック系米国人女性関係資料

◆ 全米メキシコ系女性委員会文書

メキシコ系米国人女性、ラテン系米国人女性の地位向上を目的として1970年に創立された全米メキシコ系女性委員会(Comisión Femenil Mexicana Nacional)の文書。メキシコ系米国人の公民権運動において女性がリーダーシップを発揮できるよう、情報の発信や啓蒙活動を行った。本コレクションは、書簡、ニュースレター、報告、会議録、大会関係資料、インタビュー等の文書を収録する。

◆ 全米ヒスパニック系女性ネットワーク文書

ヒスパニック系女性の地位改善を目的として1980年に創立された全米ヒスパニック系女性ネットワークの文書。運動に携わったヒスパニック系女性の生の声を伝える団体の記録、書簡、写真、報告等を収録する。

◆ アリシア・エスカランテ文書

メキシコ系米国人の公民権運動が盛り上がりを見せた1960年代、ロサンゼルスで福祉の充実、経済的格差是正、女性の人権拡張を訴えたアリシア・エスカランテの文書。その活動を伝える書簡、論文、演説、組織内部文書を収録する。

英国国立公文書館所蔵英国男女機会均等団体関係資料

◆ 全英女性委員会文書

女性の地位向上に関する全国委員会の設立を加盟国に勧告する国連決議の採択を受け、1969年に設立された全英女性委員会の文書。同委員会は政府省庁に属さない独立の諮問団体として、政府の審議や公共問題の討議に女性の意見が反映されることを求め、英国の女性団体を包括する組織として政府との交渉に当たった。本コレクションは会議録、組織運営文書等を収録する。

◆ 男女機会均等委員会記録

性別や結婚を理由とした差別の廃止を目指し、男女の機会均等を促進し、差別を受けた人への法的助言や支援を行なう英国の独立法定機関の文書。議事録や各種文書を収録。



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヶ月の無料トライアルをご提供しております。
商品に関するお問い合わせは、センゲージラーニング株式会社までお願いします。
Tel: 03-3511-4390 E-mail: GaleJapan@cengage.com